

アンケート・ヒアリングによる 茨城港への要請と課題

物流・産業	要請と課題	対応方針	資料 4
	<ul style="list-style-type: none"> 京浜港までのフィーダー運賃が高く、海上輸送コストが増加するほかリードタイムが増加する。 就航航路数や便数が限られており、茨城港で貨物を取り扱うこと（京浜港等から貨物をシフトすること）が困難であるため、直行便の開設や就航便数の増加を要請する。 	<p>○茨城港の位置的特性を活かした海上ネットワークの形成を推進する。 [取組①] 定期コンテナ航路等の拡充</p>	P61
	<ul style="list-style-type: none"> 航路の計画幅を確保してほしい。 	<p>○モーダルシフトに対応するための港湾整備を図っていく。 [取組③] モーダルシフトの進展に対応したフェリー・RORO輸送能力の強化</p>	P63
	<ul style="list-style-type: none"> 貨物の保管用地や倉庫が不足しているため、拡張してもらいたい。 常陸那珂港区は、特殊な施設（天井クレーン、冷凍冷蔵設備、危険品対応）の整備を要請する。 	<p>○施設及び用地不足等に対応するため、新たな施設及び用地確保に向けた港湾整備を推進する。 [取組②] 新たな施設整備促進及び産業用地の確保</p>	p62
環境・エネルギー	要請と課題	対応方針	資料 4
	<ul style="list-style-type: none"> 港湾施設内に陸上電力供給システムの設置（または増強）を要請する。日本国内の港湾は陸電施設が不足しており、世界と比較して遅れていると感じる。 	<p>○停泊中の船舶の脱炭素化に向け、陸上からの電力確保機能を充実させる。 [取組②] 物流・人流ターミナル、港湾地域に立地する企業の活動の脱炭素化</p>	p69
	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルについては、荷役機器の電化を進めようとしているため、制度作りや資金面のサポートを要請する。 	<p>○立地企業の脱炭素化に向けた取組を支援していく。 [取組④] 港湾脱炭素化促進事業の促進</p>	p71
	<ul style="list-style-type: none"> 新規燃料の利用に際しては、港湾側でのバンキングの設備が必要となるため、茨城港側でLNG、アンモニア、水素など提供する燃料の方向性を打ち出して欲しい。 	<p>○新規燃料の種類については、エネルギー供給事業者の計画を踏まえ決定していく。 [取組⑤] 港湾の脱炭素化に関する将来構想</p>	p72

	要請と課題	対応方針	資料4
<p>人流・賑わい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 常陸那珂港区は物流がメインの岸壁であるため、貨物船のスケジュールの前後によってクルーズ船の運航に影響を受けるほか、イベントの実施に制約が生じることがある。 ➤ CIQ対応が可能なクルーズターミナルの整備を要請する。 ➤ クルーズ船寄港時における貨物動線と分離した人流動線の確保が必要である。 	<p>○クルーズ船の受入に対する取組を推進する。 [取組①] クルーズ船の受入環境整備</p>	<p>p73</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 港を一体的な観光拠点施設とし、売店（物販ブース）や駐車場の拡張を要請する。 	<p>○みなとの賑わい創出に向けた取組を推進する。 [取組③] みなとを中心とした交流拠点の創出</p>	<p>p75</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 港までのアクセスや最寄駅までのアクセスが悪いと感じる。 	<p>○関係部局と連携し、利用改善に向け検討を進める。</p>	
	要請と課題	対応方針	資料4
<p>安全・安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 港湾施設や路面の老朽化が進展した場合においても継続的な維持・管理及び定期的な更新・保全を実施してもらいたい。 ➤ 航路の埋没対策（維持浚渫）を実施してもらいたい。 	<p>○計画的な維持管理を推進する。 [取組①] 戦略的なインフラマネジメントの推進</p>	<p>p76</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 船舶の安全航行を実施すべくうねり対策を図ってほしい。 	<p>○港内水域の利便性向上に向けた取組を推進する。 [取組③] 長周期波及びうねり対策</p>	<p>p78</p>